

# 人材育成の方策

柴田徳思 (株) 千代田テクノル

1. 人材が育成される場の例
2. 若いときの講義
3. 後始末をする
4. プロジェクトに携わる  
(福島事故での汚染マップの制作)

## 1. 人材が育成される場の例

1. 大型加速器（KEK、JPARC）、大型測定器の製作  
（カミオカンデ）
2. 大きな事故の処理（KEKBでの事故）
3. プロジェクトに携わる  
（福島事故での汚染マップの作製）

## 2. 若いときの講義

- 講義を聞くより、  
講義をするほうがよく理解できる
- 若い時に、多くの講義をするとよい
- 僕の例  
学部生の時の講義、力学要論の講義

### 3. 後始末をする

- ・ RI汚染の処理

中之島の旧阪大理学部

東大原子核研究所

### 3. プロジェクトの完成 (福島事故での汚染マップの制作)

#### 経緯

- 3月16日 大阪大学核物理研究センターで核物理分野の研究者による福島支援の集会
- 3月21日 大阪大学核物理研究センターを中心に東大原子核科学研究センターなど核物理分野の研究者が被ばくスクリーニングに参加
- 3月31日 大阪大学より「福島のアノミ力発電所事故後の放射線量調査」文科相へ提出
- 4月4日 日本学術会議 第一次緊急提言  
(詳細な空間線量、表面汚染等の分布の測定が重要で半減期の短い核種のあることから大学等の協力を得て早急に行うこと)
- 4月11日 阪大核物理研究センターで核物理・地球科学・核化学分野の研究者による土壌調査・組織・測定計画の打ち合わせ

4月20日 東大で環境放射線核物理・地球科学合同会議 土壌調査に関する打ち合わせ

4月25日 文科省E0Cモニタリング班 総合科学技術会議の戦略推進費に向けた検討

4月28日 日本学術会議 総合工学委員会 事故対応分科会の下に 原発事故による環境汚染調査に関する検討小委員会 を設置

5月26日 文科省 放射線量等分布マップの作成等に係る検討会 (第1回)

6月6日～14日 **第1次土壌試料採取** (福島原発から80km以内は2kmメッシュ  
80km～100kmは10kmメッシュ)

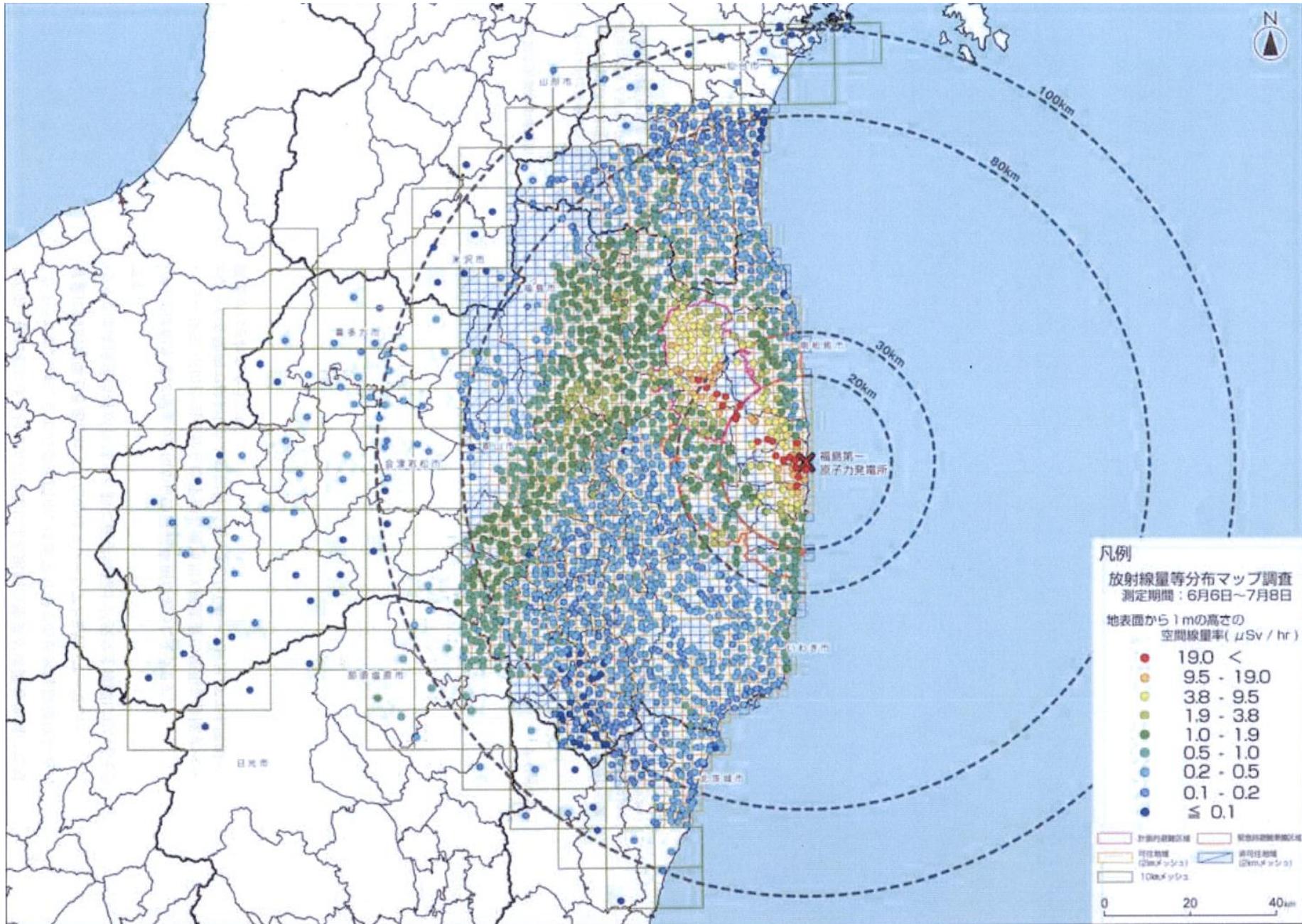
6月6日～13日 **自動車による空間線量率の走行サーベイ (KURAMA)**

6月6日 土壌試料のGe検出器による測定開始 (大学連合6600試料、  
日本分析センター4400試料)

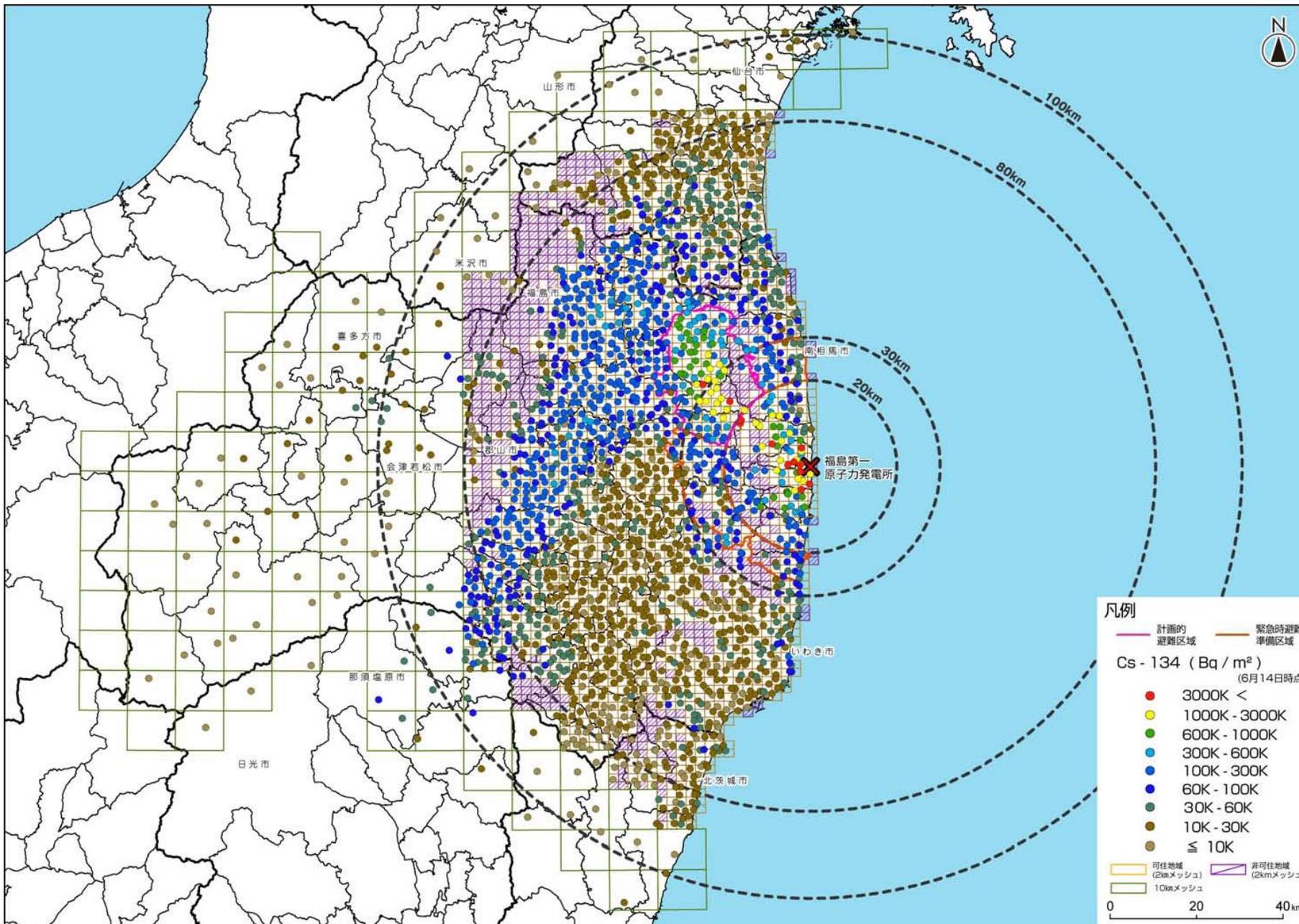
6月27日～7月7日 **第2次土壌試料採取** (福島原発から80km以内は2kmメッシュ  
80km～100kmは10kmメッシュ)

- 8月2日 文科省 走行サーベイ及び土壌採取地点の空間線量率マップ公表
- 8月3日 日本学術会議 第七次緊急提言  
(広範囲にわたる放射性物質の挙動の科学的調査と説明について)
- 8月29日 文科省 土壌沈着した放射性セシウムの分布マップ公表
- 9月13日 文科省 森林内における放射性物質の移行調査結果公表
- 9月21日 文科省 土壌沈着した放射性ヨウ素の分布マップ公表
- 9月30日 文科省 土壌に沈着したプルトニウム、ストロンチウムの  
マップ公表
- 10月31日 文科省 土壌に沈着したテルル、銀のマップ公表

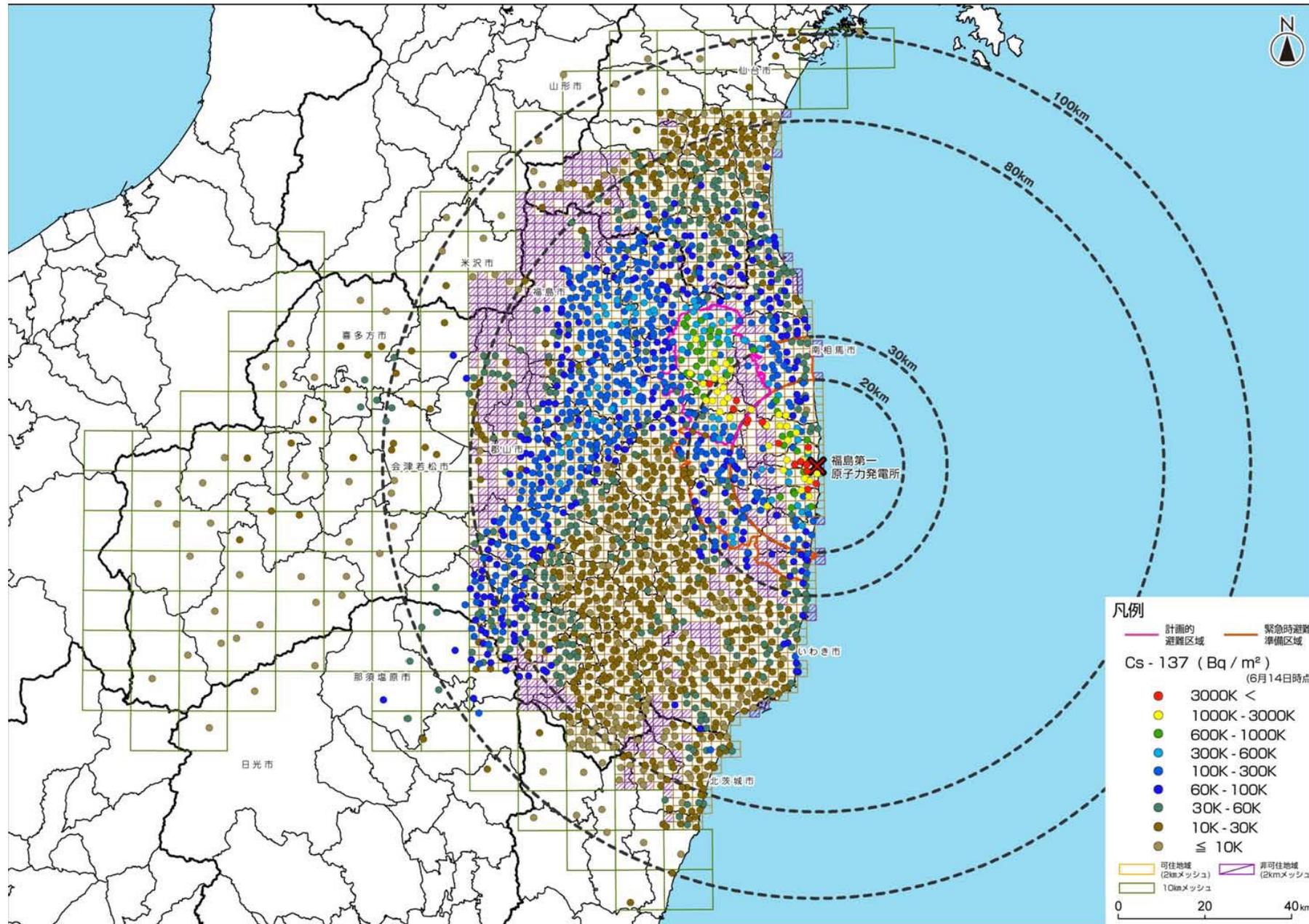
# 土壤採取地点の線量率



# $^{134}\text{Cs}$ の土壤濃度マップ



# $^{137}\text{Cs}$ の土壌濃度マップ



終